

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 近世（結びつく世界） No.3

名前

得点

/10

**問1** オスマン帝国の軍事制度に関する以下の説明において、空欄 [ ] に入る語句として最も適当なものを答えよ。オスマン帝国は領土を拡大する過程で、バルカン半島などのキリスト教徒の少年を徴集してイスラーム教に改宗させ、忠実な兵士や官僚として育成する制度を整えた。この制度によって編成され、スルタンに直属して銃器などの新兵器を用いた歩兵の常備軍は [ ] と呼ばれ、帝国の主力軍として活躍した。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. アキンジ                      2. シパーヒー                      3. イェニチェリ                      4. カプクル

**問2** 前近代の国家における軍事制度について述べた文章の空欄 [ ア ] に入る語句として最も適当なものを答えよ。オスマン帝国では、領内のキリスト教徒の少年を徴集してイスラームに改宗させ、スルタン直属の軍人や官僚として育成するデヴシルメと呼ばれる制度がとられた。この制度によって組織された [ ア ] は、鉄砲などの新兵器をいち早く導入した強力な常備歩兵軍団であり、帝国の領土拡大に大きく貢献した。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. カザルバシュ                      2. マムルーク                      3. スィパーヒー                      4. イェニチェリ

**問3** 歴史上の古典を再評価し、そこから新たな人間観や世界観を導き出そうとする動きは、ヨーロッパの文化史において大きな転換点となった。14世紀以降のイタリアを中心に、中世的な神中心の価値観から脱却し、人間性の解放や個性の尊重を目指して、ギリシア・ローマの古典文化を研究・吸収しようとした思想的潮流を何というか。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. 合理主義                      2. 人文主義                      3. 個人主義                      4. 世俗主義

**問4** 16世紀前半、銃や馬などの軍事力と帝国内部の王位継承争いを利用して、南米アンデス地方の先住民国家を征服し、その後の植民地支配の拠点として太平洋沿岸にリマを建設したスペインの征服者は誰か。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. コルテス                      2. ピサロ                      3. バルボア                      4. アルマグロ

**問5** 大航海時代以降、カトリックの勢力挽回を目指して創設され、アジアやラテンアメリカへの積極的な布教活動を展開した修道会は何か。明代後半の中国において、マテオ＝リッチなどの宣教師を派遣し、ヨーロッパの科学技術や世界地図を伝えたことで知られる。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. カルメル会                      2. サレジオ会                      3. イエズス会                      4. ドミニコ会

**問6** 16世紀初頭、カイロを首都とし、シリアやエジプトを支配していたが、オスマン帝国のセリム1世による軍事遠征によって1517年に滅ぼされたイスラーム王朝は何か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. マムルーク朝                      2. サファヴィー朝                      3. アイユーブ朝                      4. セルジューク朝

**問7** 17世紀前半、重税や飢饉に苦しむ農民たちの不満を背景に、陝西地方から拡大した大規模な反乱軍が北京を占領し、崇禎帝を自殺に追い込んで明を滅亡させた。この反乱の名称として最も適当なものを答えよ。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. 張献忠の乱                      2. 李自成の乱                      3. 黄巢の乱                      4. 黄巾の乱

**問8** 16世紀前半、アペニン半島の支配権をめぐるハプスブルク家と激しく対立し、1519年の神聖ローマ皇帝選挙においても、スペイン王カルロス1世（のちの皇帝カール5世）の対立候補として立候補したフランス国王は誰か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. フランソワ1世                      2. スレイマン1世                      3. エリザベス1世                      4. フランソワ2世

**問9** 中世から近世にかけて、ダウ船などの帆船を用いたムスリム商人らによるインド洋交易の拠点として繁栄し、1498年にはポルトガルの航海者ヴァスコ・ダ・ガマが到達した、インド西海岸に位置する港市はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. パレンバン                      2. バタヴィア                      3. カリカット                      4. マスカット

**問10** ネーデルラント出身の人文主義者が著し、愚神に擬人化した語り手を通じて、当時の聖職者の腐敗や教会の形骸化した儀礼を痛烈に風刺・批判した著作は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 天文対話                      2. 愚神礼賛                      3. 叙情詩集                      4. 十日物語

## 答え合わせ・解説 No.3

|     |                        |  |
|-----|------------------------|--|
| 問1  | <b>答え 3</b><br>イエニチェリ  | オスマン帝国では、キリスト教徒の少年を徴集して改宗・教育するデヴシルメ制度が実施された。この制度を通じて育成されたスルタン（君主）直属の歩兵常備軍がイエニチェリである。彼らは火炮や銃器などの新兵器をいち早く導入し、帝国の領土拡大において重要な役割を果たした。しかし、時代が下ると既得権益化し、政治的混乱の要因となったため、19世紀前半にマフムト2世によって解体された。 |
| 問2  | <b>答え 4</b><br>イエニチェリ  | オスマン帝国において、デヴシルメ制度によって徴集・改宗されたキリスト教徒の少年たちから編成されたスルタン直属の常備歩兵軍団はイエニチェリと呼ばれる。彼らは銃器などの新兵器を駆使して、ビザンツ帝国の滅亡や領土拡大に大きく貢献した。エジプトなどで活躍した奴隷軍人であるマムルークや、清のヌルハチが創設した八旗など、他の軍事組織との違いを区別することが重要である。      |
| 問3  | <b>答え 2</b><br>人文主義    | ルネサンス期に興った人文主義（ヒューマニズム）は、中世のキリスト教的な神中心主義に対し、人間らしい生き方や個性を肯定する思想である。この運動において、キリスト教以前のギリシア・ローマの古典古代の文化が模範とされ、古典文献の研究や人間中心の芸術表現が盛んに行われた。   |
| 問4  | <b>答え 2</b><br>ピサロ     | フランシスコ・ピサロは、1530年代にインカ帝国の皇帝アタワルパを捕らえて処刑し、同帝国を征服した。その後、高地にある首都クスコに代わる新たな支配拠点として、沿岸部にリマを建設した。アステカ帝国を征服したエルナン・コルテスとの対比が重要である。   |
| 問5  | <b>答え 3</b><br>イエズス会   | 宗教改革に対抗してカトリック側の自己改革と勢力挽回を目指し、イグナティウス＝ロヨラによって創設された。この修道会は、海外布教に力を注ぎ、中国（明・清）や日本などのアジア地域、およびラテンアメリカへ多くの宣教師を派遣した。明代の中国では、マテオ＝リッチらがキリスト教の布教とともに、西欧の天文学や地理学などの学術を紹介した。                        |
| 問6  | <b>答え 1</b><br>マムルーク朝  | 13世紀半ばにエジプトで成立したマムルーク朝は、十字軍やモンゴル帝国の侵入を退け、カイロを首都として繁栄した。しかし、1517年にオスマン帝国のセリム1世によって滅ぼされ、その領土はオスマン帝国に編入された。これによりオスマン帝国は東地中海から北アフリカに至る広大な領域を支配下に置くこととなった。                                    |
| 問7  | <b>答え 2</b><br>李自成の乱   | 明末の17世紀前半、増税や飢饉によって社会不安が高まる中、陝西地方で起きた農民反乱が急速に拡大した。この反乱を率いた指導者は北京を占領し、崇禎帝を自殺に追い込んで明を滅亡させたが、その後、山海関を越えて侵入した清軍によって滅ぼされた。  |
| 問8  | <b>答え 1</b><br>フランソワ1世 | 16世紀前半のヨーロッパでは、主権国家の形成を背景に、フランス王家とハプスブルク家の対立が激化した。フランス国王フランソワ1世は、イタリアの支配権をめぐるイタリア戦争でハプスブルク家と対立したほか、1519年の神聖ローマ皇帝選挙にも立候補してスペイン王カルロス1世（カール5世）と帝位を争ったが、敗れた。                                 |
| 問9  | <b>答え 3</b><br>カリカット   | 1498年、ポルトガルのヴァスコ・ダ・ガマはアフリカ南端の喜望峰を経由してインド西海岸のカリカットに到達した。カリカットは古くからダウ船などの帆船を用いたムスリム商人らによるインド洋交易の拠点として栄えており、香辛料貿易の中心地であった。この航路の開拓により、ヨーロッパとアジアの直接交易が本格化することとなった。                            |
| 問10 | <b>答え 2</b><br>愚神礼賛    | 『愚神礼賛』は、1511年に刊行されたエラスムスの代表作である。ギリシア神話の愚神に自らを語らせる形式をとり、当時の社会階層、特にローマ・カトリック教会の教皇や枢機卿、修道士たちの偽善や腐敗をユーモアと皮肉を交えて批判した。この著作はヨーロッパ中で広く読まれ、宗教改革の精神的土壌を耕すこととなった。                                   |